

—医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読み下さい。—

酸化マグネシウム製剤 適正使用に関するお願い —高マグネシウム血症—

2015年10月

酸化マグネシウム製剤服用中の患者さんで「高マグネシウム血症」を発症し、重篤な転帰をたどる症例が報告されております。

本剤を**長期間**投与している患者さん、**腎障害**を有する患者さんや**高齢**の患者さんでは**高マグネシウム血症を起こしやすくな**っております。特に便秘症の患者さんでは、**腎機能が正常な場合や通常用量以下の投与**であっても、発症する可能性があります。

つきましては、本剤の投与に際しましては、「高マグネシウム血症」の**発症・重篤化防止**並びに**早期発見**のため、以下の事項にご留意いただけますようお願い申し上げます。

- 処方の際には、**必要最小限の使用**にとどめてください。
- **定期的に血清マグネシウム値を測定**するなど高マグネシウム血症の発症にご注意ください。
(長期投与あるいは高齢者に投与される場合は特にご注意ください。)
- 高マグネシウム血症の**症状があらわれた場合**には、服用を中止し、**直ちに医療機関を受診**するよう患者さんにご指導ください。*

高マグネシウム血症時の症状

血中 Mg 濃度	症状
4.9mg/dL～	悪心・嘔吐、起立性低血圧、徐脈、皮膚潮紅、筋力低下、傾眠、全身倦怠感、無気力、腱反射の減弱など
6.1～12.2mg/dL	ECG異常（PR、QT延長）など
9.7mg/dL～	腱反射消失、随意筋麻痺、嚥下障害、房室ブロック、低血圧など
18.2mg/dL～	昏睡、呼吸筋麻痺、血圧低下、心停止など

改変引用：中村孝司、日本医事新報（3540）：177-178（1992）

木村琢磨、JIM 18（11）：942-943（2008）

※ご指導いただく際、リーフレット「酸化マグネシウム製剤を服用中の患者さん・ご家族の方へ」をご活用下さい。リーフレットは、PMDA又は中北薬品のホームページからダウンロードできます。

- PMDAホームページ
トップページ (<https://www.pmda.go.jp/>) 右上の検索ボックスから「製薬企業からの医薬品の適正使用等に関するお知らせ」を検索
- 中北薬品ホームページ
(<http://www.nakakita.co.jp/>)

発売元

中北薬品株式会社

製造販売元

日興製薬株式会社